

# 「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名 平群町 防災訓練

自治体名

奈良県平群町

消防団名

平群町消防団

## 1 事業の目的・必要性

共助の普及啓発、推進のための地域住民組織が中心となった避難訓練及び避難所運営訓練の実施。

自主防災組織、民生児童委員、消防団、消防署等が連携した住民避難訓練及びドローンによる火災現場、行方不明捜索等、被害現場想定訓練の実施。消防団と地域住民との繋がり強化を推進するため、避難訓練等を通し、信頼関係を築き上げ、消防団を地域に浸透させる。

## 2 事業内容

(1) ドローンを備え付け、消防団員が操作資格を取得することにより、消防団員の地域での活動機会が創出されることでより重要性が明確化され、地域へ貢献したいと思う若い世代の団員確保へと繋がる。

(2) 近年、コロナ禍において実践的な避難訓練を控えてきた結果、災害への危機感が募ると共に万が一の際の行動が不安視される。共助による避難訓練を実施し、地域は地域で守る共助の精神を今一度推進、浸透させる必要がある。このことから、あらゆる災害現場を想定した避難訓練により、消防団員との顔と顔を合わせ信頼感の構築に繋がる。

## 3 事業成果

平群町防災訓練を実施することにより、各関係団体との密に連携、結束力が高めることができ、有事の際に消防団の役割分担が明確化になった。

また、無人航空機を消防団に備えることにより、火災発生時の初期活動、行方不明捜索が迅速に進められることが見込まれ、地域での活動が大いに期待できる。

消防団員と地域住民がコミュニケーションの場として消防団活動を発信できた。このことにより、消防団のイメージアップに繋がり、消防団員への加入促進が期待できる。

## 4 目標達成状況

平群町防災訓練

午前の部：講演会【参加者360人】

第1部

テーマ：「防災は自助・互助・協働のまちづくり」

講師 気象予報士(一期生) 防災士 正木 明 氏

第2部

テーマ：「阪神淡路大震災の体験談」

講師 北淡震災記念公園 総支配人 米山 正幸 氏

午後の部：各種訓練【参加者500人】

内 容

炊出し訓練、特殊車両展示、消防車両展示、ちびっ子体験、煙体験、土のう訓練、避難所運営訓練、上空偵察・状況調査通信訓練、無人航空機デモンストラクション、外部給電可能な車両展示、感震ブレーカーの展示

## 5 その他参考情報

